

NPO法人
地域がん登録全国協議会

事務局便り



成澤 麻子 尾崎 恭子

特定非営利活動法人 地域がん登録全国協議会事務局

こんにちは。日本列島がまた太平洋高気圧に覆われる時期がやってきました。幸か不幸か、何が起きようと、季節はきちんと廻ってきますね。3月の大きな出来事があってから、つい、自然の摂理に感慨深くなってしまいます。皆さま、今年の夏をいかがお過ごしでしょうか？さて、事務局より2点ほどご報告させていただきます。

① 広報って、なに？

先日、(株)電通PRの方から、「PR=広報って、なに？」という初歩的なところから、マスメディアについて、PR戦略、また主に公益団体や公衆衛生分野における広報の実例紹介まで、簡単な広報の解説をしていただきました。解説いただいたすべての内容をご報告したいところですが、この場では限りがありますので、最も印象に残った、基本の基(き)且つ重要なポイントをご報告したいと思います。

PR(Public Relations;パブリック・リレーションズ：広報)とは、広く知らせ、広く聴くことである。

それは、企業や団体が社会・公衆(=パブリック)との間に双方向のコミュニケーションを通じて、良好な関係(=リレーションズ)をつくっていくこと、よい関係づくりである。また、広く聴く=広聴こそが、情報発信の前提条件である。

広報という、つい、こちらから発信することばかりになりがちですが、その前提には、発信する相手の声を広く聴き、信頼関係を築き、自分の置かれている立場を知ることが条件としてあるということです。協議会もこれからは、会員の皆さまはじめ様々な立場の方々の声を広く聴いていきたいと考えています。

② NPO法人HANDS訪問

6月末、ご縁があって、昨年にNPO法人設立10周年をお迎えになった特定非営利活動法人HANDS(<http://www.hands.or.jp/>)の事務局を訪ね、この10年間のNPO法人運営についてのお話を伺ってきました。事前にこちらから次のような質問事項を挙げさせていただき、堅苦しい質問ながらも、笑いを交えながらとても丁寧にご対応いただきました。

会員について

勧誘方法、会員の活動への参画状況、会員メリットの考え方 など

組織運営について

現組織構成、意思決定フロー、事務局や理事会の役割、ボランティアスタッフの位置づけ など

事務局運営について

有償スタッフの継続的雇用に関する方策や課題 など

事業活動について

マーケティングや事業出資者との連携、広報物、出版物、ウェブサイトなどの活用や利用方針 など

事業内容の違いこそあれ、NPO法人運営におけるこれまでのご苦労や組織改善策、また、10年経てもなお抱えている課題など、大変参考になるお話ばかりでした。なお、当日ご対応いただきました、事務局長横田様、マーケティング部篠原様にこの場をおかりして改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。